

これまでの測量調査技術のレビュー

- ・協会誌 APA に見られる技術開発・関連事業の変遷
- ・技術と事業の関連
- ・建設関連業等動態調査にみる事業量の推移の傾向
- ・これまでの技術と事業の傾向分析
- ・まとめ

那須 まず技術のレビューということで、測技協の会誌『APA』の中で掲載されおります論文や報告から、いつごろ、どのような技術が出現したか、またそれがどのように使われてきたかを簡単にレビューしてみたいと思います。またそういう中で技術と事業の関連を見たり、特に建設関連業の動態調査の結果から事業量がどのように推移してきたか、公共測量の事業量の推移等を見たいということです。

スライド2の図は字が少し小さいですが、1975年から2000年くらいの間に現れた新しい技術をまとめたものです。左側の軸が測地、センサー、空三図化、情報システム調査応用というような要素の軸になっており、下の軸が時間になっています。この図で示していますように、それぞれのジャンルで、いろいろな技術が出てきていますが、この20年でたとえば「測地」の分野で一番エポックメーキングだったのが、ト

測量調査新技術の変遷(協会誌APAより)

